# 坂町病院 たいより

第16号 2019年1月発行



新潟県立坂町病院

〒959-3193 村上市下鍜冶屋589番地 TEL.0254-62-3111 FAX.0254-62-5431 http://www.iwafune.ne.jp/~sakamachi-hosp/

「地域住民に親しまれ信頼される病院」を目指し、当院から地域の方々に健康に関する様々な情報などを提供していくため、「坂町病院だより」を発行しています。



### 地域に対する坂町病院の役割

坂町病院 院長 鈴木 薫

坂町病院は地域に密着した医療を提供する病院であり、医療を通して地域に貢献する役割を担っています。その為には、地域の実情に合わせた医療を行う必要があります。

地域の最大の問題は高齢化と少子化です。高 齢化が進む地域は医療資源も乏しく、一方、公共 交通も不便な為、高齢者は遠方まで通院する事 は困難です。

坂町病院は新発田病院や村上病院まで行かなくて済む様に、医療レベルの向上が必要であり、開業医の少ない地域の為、かかりつけ医の役割も果たす必要があります。

高齢者は急に状態が悪化しやすい為に何時でも受診できる事、必要な場合は何時でも入院できる事が重要です。

高齢者世帯の場合、頻回な通院が困難であり、また体調の悪い人間の看護も困難となる事が多く、その為、若年者とは異なった入院の基準、家庭環境等を考慮した対応等が必要となります。

高齢者は短期の入院でも筋力の低下が起こります。筋力の低下が起きた場合は入院前の生活に戻る事が困難となり、本人や家族の負担が増えます。その為、リハビリ等により筋力を維持し、可能な限り入院前の生活が出来る様にする事が重要です。

加齢に伴いできる事が次第に減ってきます。 できない事が増えても本人、家族が困らない様 にする為には介護システムを活用する必要があ ります。介護関係では自己負担額が増える傾向 がある為、必要な介護サービス内容と自己負担 額の調整が必要であり、退院しても患者さんや ご家族が困らない為には、入院中に介護関係との調整が重要です。

高齢者の場合は病気を治すだけではなく、退院後の生活や家庭環境等を考慮し、退院後に患者さん本人



やご家族が出来るだけ困らない様にする事が必要であり、その為には退院支援、リハビリ、薬剤、 栄養、看護等様々な部門が密接に協力した対応 が重要になります。

開業医が少ない地域では訪問診療も病院が行う必要があり、また、訪問診療を行っている開業医を支援する必要もあります。在宅医療を効果的に行う為には、介護関係との密な連携が必要です。

人口減が進む地域では、若い人間の流入を促す必要があります。若い夫婦にとり子育て環境は重要な問題であり、当院は医療を通じて地域に貢献する立場より病児、病後児保育への協力を行っています。また小児科診療の提供を行う必要があります。

地域において坂町病院は重要な役割を担っています。しかし、医師の減少により次第に病院の機能が低下してきていて、医師の減少による機能低下は、他の職種を含めた病院全体の総合力でカバーする必要があります。各職種が専門家として能力を向上させ、各職種が有機的に連携するシステムの強化が必要です。

## **ルビリティーション**てなあに? ?>



平成5年開院当初は、リハビリのスタッフも理学療法 士1名から始まりました。今では理学療法士3名、作業療 法士3名、言語聴覚士1名の7人体制で業務を行ってい ます。入院されてリハビリをしたことがある方はご存知 かもしれませんが、リハビリテーションというとすぐに病 院で行われている機能訓練の光景を思い浮かべる方が 多いでしょう。しかし人間は何のために物を持ったり、歩 いたりするのでしょうか。そこには必ず、箸をもって食事 をする、トイレに行って用をたす、さらには包丁を持って 料理をする、スーパーに行って買い物をする、そして趣 味や仕事にうちこむという目的があるはずです。基本的 な日常生活動作、さらには広い意味での社会生活を営 むために物を持ったり歩いたりするわけです。

リハビリテーションとは単に訓練を指すことではなく 障害を持った方が可能な限り元の社会生活を取り戻す ことを意味します。障害自体が軽減するように機能訓練 を行う必要もありますが、それ以上にご本人が生活の中 で積極的に身体を使うことが大切です。リハビリスタッ フは、その身体つくりのお手伝いをすること、さらには身



体の不自由が残っても安心して 生活できる環境つくりをお手伝 いしています。

リハビリテーション科では、 主治医が診察を行い理学療法



士、作業療法士、言 語聴覚士などの各 専門職に指示を出 します。各専門職は



指示に基づき患者さんがどのくらい生活動作が自分で できるのか、どのくらい介助が必要なのかなど身体の状 態や環境を多方面から評価しながらリハビリを実践して います。その中でリハビリテーション医療は多くの専門 職によるチーム医療であり、チーム医療においてケース カンファレンス(検討会)は欠かせないものです。当院で も定期的にカンファレンスを行い、患者さんやご家族を 含め、医師、看護師、各療法士、医療相談員、ケアマネー ジャー等との意思統一とゴール設定を行っています。ス タッフ一同、患者さんがもとの社会生活を取り戻される よう全力を尽くしております。また、高齢化社会の到来と 地域ケアのニーズの増大に対応し、退院前訪問指導を 実施して住宅改修や生活動作などのアドバイスや、市町 村のケアマネージャー、医療関係者とも協力しながら地 域との架け橋の役割を果たしたいと思っています。



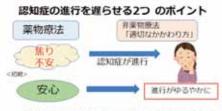




「認知症」と聞いて、どのようなイメージを持たれるでしょうか?一般的には、「何度も同じことを言う。介護が大変」 など「認知症がある人のことは理解できない」と思われている方が多いようです。看護職でさえ認知症患者に対して、 「何も理解することができない、何もわからない人」「認知症高齢者は自分たちを困らせる人」と考えている看護師が多 いと報告されています。坂町病院の入院患者のほとんどが80代90代で、認知症の症状があり日常生活に支障をきた すような症状、行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする人が70%を占めています。認知症の人に とって、急性期病院への入院は身体の不具合に加え、環境の変化により大きなストレスになります。認知症の人の尊

厳を守りたいと誰もが願っています。しかし、医療の現場では治療が優先と なり、なかなかできないことが多いのが現状です。

認知症看護の質の向上を目指し、2006年に日本看護協会により認定が 開始されました。2018年現在までに1,251名、そのうち新潟県では19名に なりました。下越地区には私を含めて4人になります。主な役割は、認知症の 各期に応じた療養環境の調整およびケア体制の構築、認知症の行動・心理症 状の緩和・予防です。医療相談室に席を置きケアの実践・指導・ケアの相談が



主な活動です。お気軽にご相談ください。1つの領域の専門職だけでは認知症の 人を支えることはできません。坂町病院では、昨年10月に多職種で構成された認 知症ケアチームが結成されました。毎週火曜日に病棟の依頼を受けて、巡回してケ アの検討を行っています。入院によるリロケーションダメージ(移り住みの害)を予

防することが重要です。入院中も家庭や施設での暮らしや習慣を取り入れ たケアが有効です。本人が大切にされてきたこと、習慣やこだわりをぜひ お聞かせください。



## 「県立坂町病院活性化促進大会」が 開催されました

去る10月27日(土)、秋雨と木枯らしが吹く中、 関川村村民会館大ホールにて平成30年度県立 坂町病院活性化促進大会が開催されました。

この大会は、平成17年12月に当時の胎内市、 荒川町、神林村、関川村を構成員として設立され た県立坂町病院活性化協議会が主催したもの で、毎年開催され、今年も行政機関及び坂町病 院をご利用頂いている住民の皆様ら約300人も の方が参加されました。

また、ご来賓として、衆議院議員の黒岩宇洋様、斎藤洋明様並びに県議会議員の小野峯生様、片野猛様、冨樫一成様にもご臨席いただきました。

大会開催にあたり協議会の会長である高橋邦 芳村上市長が、「地域住民の命や健康を守る上 で、坂町病院の医療体制がしっかりとしていなけ ればならない」と挨拶され、続いて、ご来賓の衆 議院議員の先生方の祝辞では、医師の偏在を是 正する方法として奨学金制度や地方勤務の義務 化、医師の働き方改革の必要性など具体的な事 例が述べられ、県議会議員の先生方からの祝辞 では、「病院のかかりかたとして少しの我慢は必 要なときもあるが、救急車を利用せず本当に悪く なってからでは遅いので、判断に迷ったら躊躇せ ず救急病院でもある坂町病院に行くようにしま しょう」と、身近にある救急病院の頼もしさを再認 識されるとともに、会場に大勢が集まられたこと に対して、「坂町病院を信頼し、かかりつけ病院と している人が大勢いることを知事や県病院局長 に来て見ていただきたい」と、この促進大会の意 義を発信し伝えなければならないと述べられま した。



次に、地域住 民代表として、 胎内市在住の片 野周一様から意 見発表がなされ、ご自身の入 院にまつわる体



験談を話されました。初めての坂町病院は、学生の頃に盲腸で入院したこと。その手術の際に剃毛する必要があり、看護婦さんが若くて恥ずかしかったことが青春の思い出の1つとなっていること。それ以来、身近な病院として、「母はこの病院で看取りとなりいろいろとお世話になった。自分もかかりつけ病院として鈴木院長に診てもらっているが、1回も酒を止めろとは言われない…ありがたいと思っている」等々。当時の自分の気持ちを率直にユーモアたっぷりに発表され、最後に坂町病院が自分にとっても地域にとっても絶対必要な大切な存在であると結びました。

その後、加藤弘関川村長から大会決議案として「(〜略〜)常勤の内科・小児科医師の増員及び整形外科医師の確保、産科の復活、リハビリテーション機能や在宅医療、並びに医療機器の充実を図り、一刻も早く、将来を見据えた力強い病院機能の改善が必要である。」と、坂町病院の医療体制の改善と機能の充実を早期に実現していく決議が、満場の大拍手でなされました。

記念として鈴木薫院長からテーマ「地域で最期まで暮らす爲に」の講演が行われ、最後に、井畑明彦胎内市長から閉会の挨拶があり大会は無事終了しました。

今年は参加者全員に関川村の銘菓「中村屋の きんつば」と極楽物産の「光兎サブレ」が配布され、こちらも大好評でした。

来年の促進大会は胎内市で開催予定です。是 非ご参加くださいますよ うお願いいたします。

## 外来診療のご案内

### 外来診療等担当医師一覧

平成31年1月1日現在

階						月	火	水	木	金
1 階		17	1	診		総合診療外来 第1・3週 近 幸吉 第2・4週 新潟大学 午前のみ	田邊 靖貴 杉山 幹也 14:00~ 【肝臓】 再来予約のみ	関根 輝夫 午前のみ	丹呉 益夫 黒川 允14:00〜 再来予約のみ	黒川 允 午前のみ
			2	診		鈴木 薫 第1週 鈴木 ペースメーカー 外来	黒川 允	鈴木 薫 安斎 博隆 13:30~ 【消化管】 再来予約のみ	鈴木 薫	鈴木 薫
	内	科	3	診		新潟大学 【循環器】 午前のみ	近 幸吉 10:30~	近 幸吉	近辛吉 10.00∼	新潟大学【循環器】 午前のみ
			4	診		第2·4週 新潟大学 五十嵐 仁 (午後)	姉﨑 一弥 午前のみ	五十嵐 仁 10:00~	五十嵐 仁 五十嵐 仁 13:10~ 糖尿病透析予防外来 再来予約のみ	姉﨑 一弥 午前のみ
			5診(場		科)				黒川 允 午前のみ	
	2	ツ	トケ	ア 外	来		予約のみ		予約のみ	
			1	診		新潟大学 10:00~	水木 享	富田 広	水木 享	富田 広
			2	診		冨田・水木(予約及び紹介のみ)	富田 広	水木 享	富田 広	
	外	科		−マ外来 :00~	₹			第2・4週 冨田		
	整		形	外	科				第2週 渡部和敏(新発田病院) 第4週 三輪 仁(新発田病院)	
	眼				科		上田 潤 受付11:00まで	中野里絵子(新潟大学)		
2			1 2	診診		今田 研生 新潟大学	今田 研生 新潟大学	今田 研生	今田 研生 新潟大学	今田 研生
	小! 	見科		17年17	30.0		今田 研生(予約制)	今田 研生(予約制)		
	┡	<u> </u>	ファルカガ	接種13:3					第1週~第4週 今田 研生	#C \C3   \FF
階	무	耳鼻咽喉科(午後)						新潟大学		新潟大学
		皮膚科(午前)				新潟大学		*C.V. 1 324		新潟大学
	泌	泌尿器科(午前)						新潟大学	/D <del>/</del> #	新潟大学
	歯	歯科 (日本歯科大学)				□腔外科 (抜歯)	補綴 I (義歯)	補綴Ⅱ (歯冠修復)	保存Ⅱ (歯冠修復) (歯周病治療)	保存 I (歯内療法)
*	人	1	りド	ツ	2	鈴木 薫		関根 輝夫	丹呉 益夫	黒川 允

受付時間 8:00~11:30まで

○外

〇内 科 新患のみ受付:月曜日は1診・2診、火〜金曜日は1診 その他の外来:再診専門

70他の外来・再診等門 月曜日:10:00から診療 受付は8:00~10:30まで

○整 形 外 科 受付は8:00~10:30まで ○眼 料 火曜日:手術のため受付は8:00~11:00まで

○耳鼻咽喉科 水・金曜日: 13:30~15:30まで

○歯 科 全て予約制

**受付方法** 初めての方、診察券をお持ちでない方は、申込み用紙を記入して受付1番窓口へ保険証を添えてお出しください。

診察券をお持ちの方は、保険証と診察券を受付1番窓口へお出しください。

予約方法 予約の方は直接予約科へ、予約以外にも受診したい科がある時は受付1番窓口へお申し出ください。

予約の変更をしたい時は、なるべく午後から診療科へ直接電話でご相談ください。

医療相談 当院には、医療相談室があります。各種申請・施設利用希望など、お気軽に何でもご相談ください。

詳しくは、診療科の看護師又は受付窓口にお申し出ください。

**患者さんの声** より良い医療サービスを提供できるように、患者様等から多くのご意見をいただきたく、1階、2階の待合ホールと3~5階の電話ボックスの5個所に『患者様の声』ポスト(白箱)を設置しております。日ごろ、坂町病院で感じるままれば、からなどにごま見たがされ

じられる事など、お気軽にご意見をお寄せください。

**専門外来** 当院は、ストーマ外来、フットケア外来、透析予防外来を設けています。

詳しくは、ストーマ外来は外科、フットケア外来と透析予防外来は内科にご相談ください。